

長岡市長  
森 民 夫 様

**地方分権社会の推進並びに市町村合併に伴う  
中心市街地再構築に向けた行政機能・施設等の  
配置促進に関する要望**

平成 18 年8月23日

長岡商工会議所  
会 頭 田 村



## 地方分権社会の推進並びに市町村合併に伴う 中心市街地再構築に向けた行政機能・施設等の 配置促進に関する要望

### 【要 旨】

- ・平成 17 年 3 月末時点で日本の人口減少時代が始まり、併せて少子高齢化社会が急速に進展することによる社会問題と、100 年後に予想される日本の人口半減を乗り越えることが大きな課題となっています。  
長岡市制 100 周年を契機に次代を担う子孫のために長岡市はどのようにして準備してゆくべきかを思考することが、重要な検討課題であります。
- ・地方分権社会の推進と市町村合併による業務の拡大、並びに行財政改革による行政施設再編のなかで、長岡市役所本庁舎のスペース・機能の不足・不合理が発生し、市役所機能の一部が空きビル対策の一環と中心市街地の活性化のために大手通りを中心として 7 箇所分散配置された形となっています。
- ・そのようななかで、21 世紀にふさわしいコンパクトシティを創ってゆく観点から、市民自らが、都市再生のまちづくりに参加するきっかけをつくるためにも、長岡市の行政機能・施設等については、郊外に分散することなく中心市街地への分散配置が必要であります。
- ・なお、合併 10 地域の、それぞれの場の歴史・文化・風土と諸条件を読み解いて、各地域コミュニティを持続し、市民の創造性をかきたてる連立型のコンパクトシティを実現させることが今求められています。
- ・については、中心市街地の空洞化を避ける方策として公共施設、並びに駐車場の配置と民間投資の誘発事業を具体的に計画検討のうえ、長岡市の財政を圧迫することなく、長岡市役所の本庁舎を含む行政機能・施設等を中心市街地に建設することにより、感性溢れ、回遊性に富んだ、市民が集う「魅力的で創造性豊かな都市」を目指すことを要望します。
- ・併せて、その実現のためにも、まちづくり 3 法の改正に引き続き、将来の人口動態をふまえ長岡市において「まちづくり条例」の制定を、百年の大計として施行していただきたい。
- ・当所は、創設以来 100 年余にわたって人々が集う中心市街地において、活動拠点の会館を広く産業界、並びに各界各層の皆様からご利用いただき、地域社会の福祉増進の一助を担う公益的な社会参加を実践しており、今後とも長岡市の発展のために、中心市街地において永続的な施設運営を図りながら、「まちづくり」に参画・協力してまいります。

## 【内 容】

1. 人口減少時代、少子高齢化社会が加速度的に進展することが予想されるなかで、長岡市に限らず多くの地方都市において、相変わらず大型商業・集客施設や公共施設が郊外に立地し、中心市街地並び商店街の衰退問題を増幅しており、これを解決することが重要な政策課題となっております。
2. このたびの、まちづくり3法が改正されるなかで、国の国土政策の見直しによる『コンパクトシティ』に対する考え方は、21世紀の地方都市の都市経営・行政経営のあり方や、地球環境・エネルギー問題の解決に向けた観点などからも新しい潮流となっております。
3. こうしたなか、成熟社会型の国土計画を目指して「国土形成計画法」が施行され、持続可能な「生活の場」として特色ある地域の形成が期待されており、国と地域(地方)の新しい方向性を示す動きであります。
4. 本年は、新長岡市が誕生し、新たな一步を踏み出す長岡市制施行100周年にあたります。  
市民にとって「シンボル」となる長岡市役所がどのようにあるべきか、その位置づけを広く議論・検討することが求められております。
5. 長岡の中心市街地はJR長岡駅や路線バスなど公共交通の結節点であり、情報集積等の拠点として利便性が高く評価されております。  
加えて、市町村合併による広域都市圏を形成した新長岡市の玄関口としての魅力ある中心市街地の再整備は、異なる地域、異なる世代が共生できる都市空間、そして、異なる文化や個性が交流できる共有空間の重要性を位置づけると共に、地域の創造的活力を生み出すことが大きく期待されています。
6. 21世紀は「創造の時代」、多様な文化価値を認め合う時代と言われており、文化が経済を活性化させ、創造力ある人材が集う魅力的な都市こそが新たな時代に対応した“創造都市”として発展するものと考えられています。
7. さらに、豊かな都心空間を創出するため、中心市街地に長岡市の本庁舎機能を集約させ、それぞれの部署・施設と民間の発想・想像力、個性、感性豊かな魅力ある各種機能が有機的に融合し、大きなシナジー効果をもたらすことによって、コンパクトシティが創られることとなります。
8. 本庁舎、行政機能・施設の中心市街地への集積は、大きな時代の変革期の中で経済と文化は相反するものではなく、経済の持続的発展のためには両面を併せ持ち、多様化する価値観に堪えうる都心施設群を創出するエネルギー源となり、まちづくりに参画する多くのステークホルダーを奮起させるものであります。

- つきましては、全国に先駆けた地域を創造する契機となるコンパクトシティと新たな都市機能の増進と経済活力の向上を、総合的かつ一体的に推進するモデルケースとして、ぜひとも長岡市役所：本庁舎機能を中心市街地へ配置することを要望します。

なお、行政機能・施設等の配置、建設にあたっては、長岡市財政を圧迫することなく、高密度な投資効果をめざす計画の促進もあわせて要望いたします。また、都市機能の見直しを図ると共に、まちづくり条例の制定により、再び中心市街地を人間（市民生活）のために取り戻すことができる創造性を刺激する都心づくりが都市再生の決め手となるものと考えられますので、早急な対応を強く要望いたします。

以 上

※平成17年10月13日付で、森長岡市長様宛に要望いたしました、「＝都心の再生プロジェクト＝ 長岡駅東口：越後交通ビルリニューアルに伴う長岡市役所等の公共施設導入に関する要望」（別添資料）を前提として、本要望書を記述させていただきましたことを申し添えます。